

安全と環境を考えるニシオの広報誌

安全くん

2005

Vol-1

73



とれ行け!! 安全くん 「安全くん、もっと敏感に!」の巻

●解説コーナー

「『安全くんⅡ-2』と『転圧名人』」～ NISHIO オリジナルの優れもの～
「異常事態・災害発生時の措置」
「『カイロ』で上手に防寒しよう」

●世の中 見たトコ勝負 VOL.13

「ひと味違う『お宅消費』」

●NISHIO TOPICS

気球照明に新たな機種を投入!

表紙写真：
日光東照宮
陽明門（栃木県）



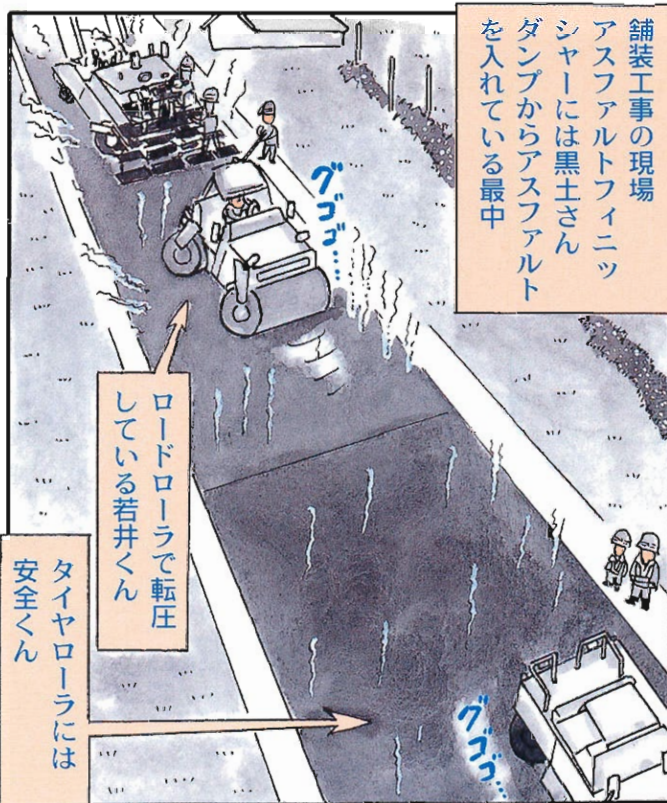
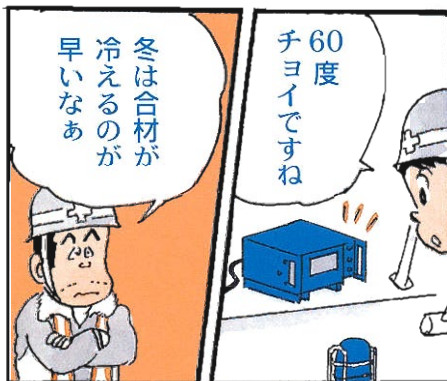
インターネットホームページ
「安全くんネット」もご覧ください。

<http://www.anzenkun.nishio-rent.co.jp/>

〈この広報誌は、再生紙を使用しています。〉

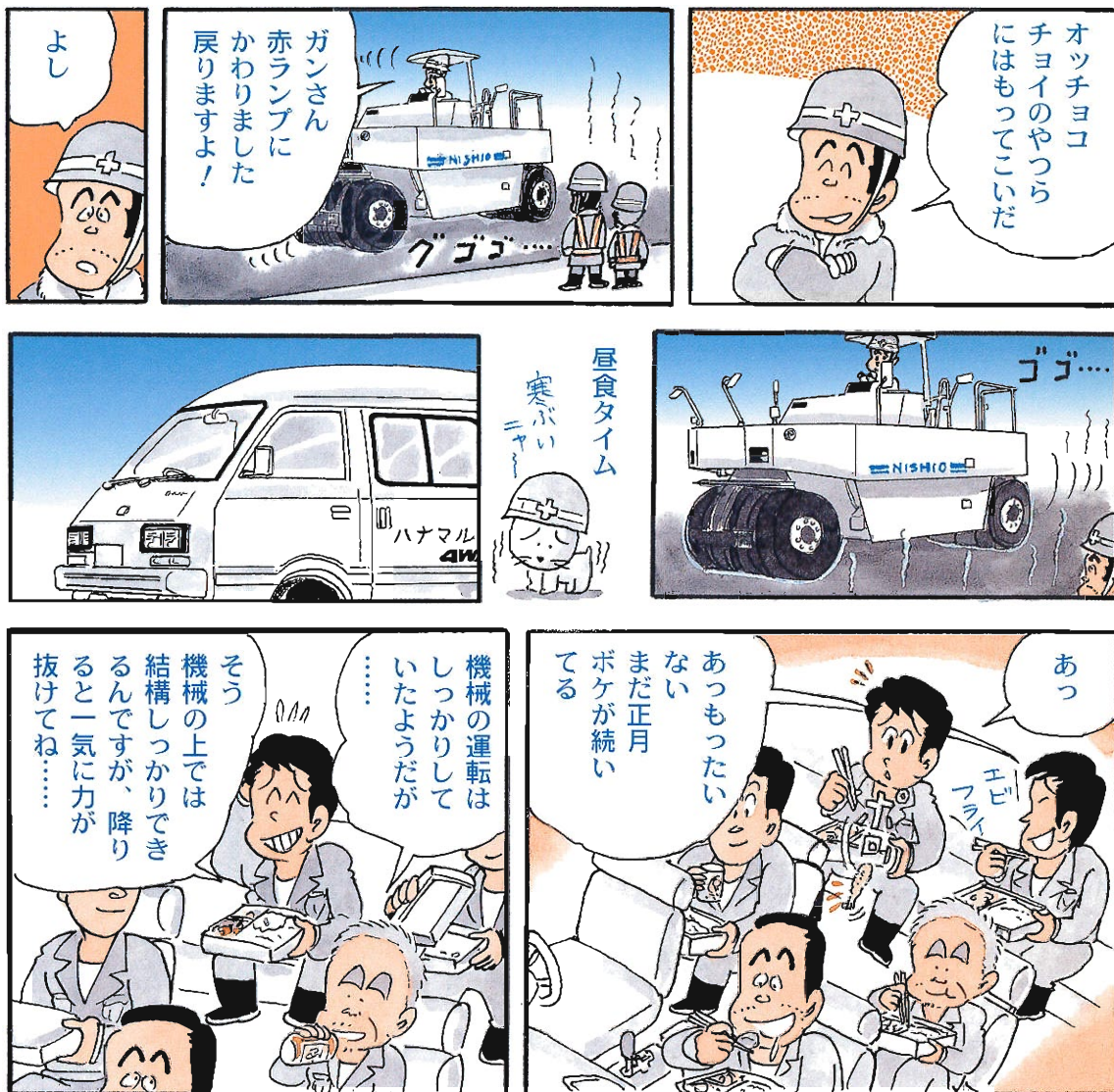
画 中村よしのぶ

「安全くん、 もっと敏感に!」の巻



※安全くんⅡ

世界文化遺産 日本編 シリーズNo.7 日光東照宮 陽明門(国宝) 1617年、徳川家康の霊廟として創建された東照宮。豪華絢爛たる桃山文化の伝統を継いだ陽明門、唐門、拝殿、本殿が立ち並んでいます。付近の日光二荒山神社、日光山輪王寺の建造物103棟(国宝9棟、重要文化財94棟)と周辺の豊かな自然環境が「日光の社寺」として1999年12月世界文化遺産に登録されました。



解説 コーナー 「安全くんⅡ-2」と「転圧名人」～ NISHIOオリジナルの優れもの～

■ 転圧名人 (ローラ搭載型放射温度計)

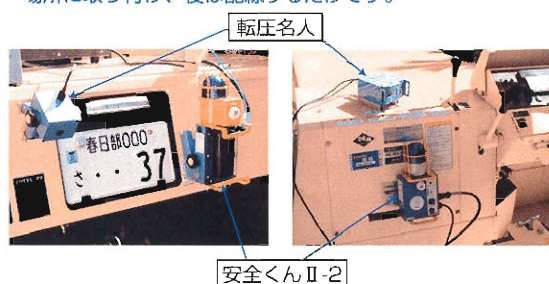
- ①「転圧名人」は、運転席に座ったまま路面温度が分かります。
(測定範囲: 0~250℃)
 - ②路面温度は、デジタル表示と赤青ランプの点灯でお知らせします。
(温度設定範囲内のとき青ランプ、範囲外のとき赤ランプで点灯します。1℃単位で設定可能)
 - ③強力マグネットでワンタッチ脱着が可能 (表示部、センサ部とも)
 - ④電源は、ローラ等のバッテリーを使用 (24V車、12V車に装着可能)
- ※センサ特性: 2m離れて直径14cmの範囲を計測。
※測定温度が設定範囲 (例えば50~100℃) 内のとき青ランプが点灯し、設定範囲外 (49℃以下、101℃以上) になると赤ランプに切り替わる機能があります。赤青ランプに連動して、温度表示の数字色も赤と青に切り替わります。

■ 「安全くんⅡ-2」 (重機後方センサー)

- ①センサーの検出範囲は、車幅の範囲内やその左右1m内、また測定距離も5mの範囲で設定可能です。つまり、最も

危険なエリアに限定できるわけです。

- ②平行して複数のローラを使用時や側壁際での運行など特殊な場合、オフセットの検出範囲設定が選べます。
- ③設定された距離範囲内に障害物 (人や物) が介在した場合、ブザーが鳴り、回転灯が回転します。
それも、車輛後方と運転席の2ヶ所で同時に発報します。
- ④重機へのセットも簡単で、強力マグネットにより、所定の場所に取り付け、後は配線するだけです。





解説 コーナー

— 異常事態・災害発生時の措置 —

～ 平常から8原則を理解し、作業員にも教育を！ ～

- 状況判断** 1. 作業・運転の禁止
災害原因となった設備機械や関連する作業などの中止。
- 確認** 2. 被害者の救助
災害の程度、異常事態の真相を把握し、人命救助を行なう。
3. 二次災害の防止
作業員を安全な場所に避難させる。監視人を配置し、警戒と予防にあたる。
- 連絡・報告** 4. 連絡
作業員の他、安全管理者や統括安全責任者に災害状況、程度を連絡。
必要があれば協力を求める。傷害・死亡等の場合は被害者の近親者、監督署、警察等へも連絡。

- 処置** 5. 報告
災害・異常事態の内容、正確な状況を所属上司、会社幹部に報告
(5W1Hの原則：1.いつ 2.だれが 3.どこで 4.なにを 5.なぜ 6.どのように)
6. 目撃者・参考人の確保
第三者の場合は連絡方法の確認を。
7. 現場保存
傷害・死亡の場合は仮囲い・縄張りをする。
作業員を配置して現場保存に努める。
8. 作業員の気持ちを落ち着かせる
災害現場から遠ざけ、安全な場所や詰所内で待機させる。



ガンさんのワンポイントレッスン

『自分の「体感温度」を 考えて寒さ対策を！』

「暑がり、寒がり」という表現がありますが、この暑い、寒いという感覚は、皮膚の表面にある感覚器官で感じ取っています。それも気温だけではなく、湿度や日照、風などが加味されているそうです。そしてこれらに加え、視覚（景色）や音（聴覚）による心理的な部分も大きいのではないのでしょうか。

つまり、実際に測定されている気温と人が感じ取っている「体感温度」や心理状態にはかなりの差があり、且つ、その日の体調にも影響されるので、とにかく「寒さ対策は一人一人が自分にあった対策をとるべき」であることをしっかりと認識する必要があります。

さて、「体感温度」には、ミスナールとリンケという人による計算方式があるそうです。簡単に表現すると、

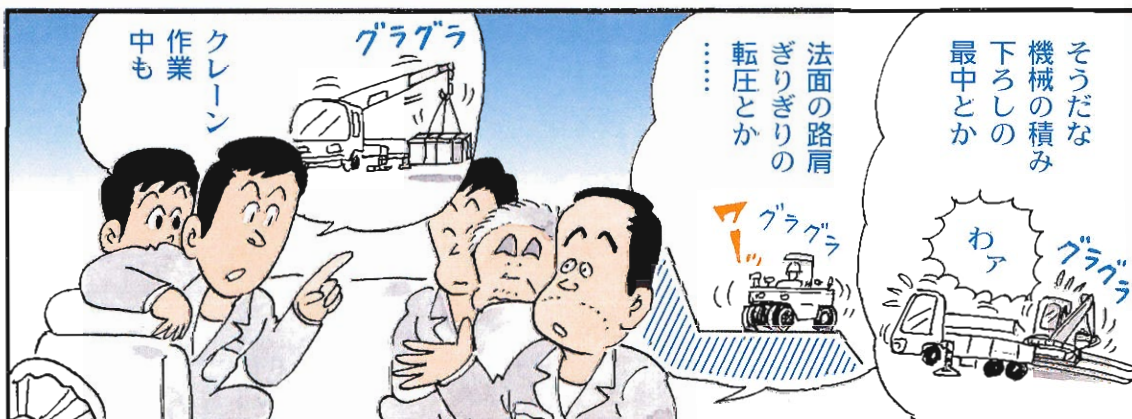
●ミスナールの体感温度

湿度を元に計算した体感温度。気温が10℃以上のときは湿度が上がれば上がるほど暑く感じ、10℃以下のときは湿度が上がれば上がるほど寒く感じる。

●リンケの体感温度

風が吹くと体表の熱が奪われるため、体感温度は低くなる。風が1m強くなると体感温度は1度下がる。

二人は、湿度と風の影響を唱えました。つまり、10℃を切るような日は、風が強く湿度も高いと予報の気温よりも相当寒く感じる、ということになります。これらをもとに天気予報の確認、現場内での風の通り道などを考え、各自で寒さ対策を講じてください。



SAFETY CHECK セーフティチェック

ランマー&プレートの安全

小型転圧機械であるランマー・プレートは、小型エンジンを使っていますが、それゆえ発生するトラブルや安全について考えてみます。

■エンジンのトラブル

機体を運搬時に横倒ししたりするとキャブレターや燃料コックの周辺から燃料洩れを招きます。

また冬場の始動時にリコイルを連続して引くとプラグが被るので、間隔をあけてください。

パワー不足は、①エアクリーナの目詰まり、②スロットワイヤーの緩み、③暖気運転の不足が主な原因です。また2ストロークの場合、マフラーが詰まっているケースもあるので注意しましょう。

■使用時の安全

始動は、スロットレバーの位置が高過ぎるとエンジンスタートの瞬間から振動が始まり危険です。機体が倒れないようにハンドルをしっかりと握りリコイルを引いてください。経年機は防振ラバーの劣化や振動で取付け部品が緩み脱落する恐れがあるので日常点検を忘れずに！周囲に碎石等飛散することがあるので十分に安全を確保すること。稼働中のプレート部に手足を巻き込まないよう作業姿勢にも注意を。



建築の現場では
もっと気をつけ
ねばならんじやろ

やはり、普段
から「もしも」を
考えての安全対策
や不安全行動を
しないことが
大原則
だ

ガンさん、古川さん
黒土さん、三人で
建設的な話で盛り
上がっている中
若手二組は
……



安田さん
昨日の上戸彩の
番組
見まし
た？

見た
見た！

しかし
やっぱり僕は
あやの方が
いいな

安田さんは
相変わらず
つくくファミリー
が好きです
ねえ

急に黒土さん
振り返って

なあ

安全くん
君ならどう
する？

はあ？

何のことやらわからず

だから地震が
発生したら
おまえはどうするんだ？
と聞いているんだ

解説 コーナー

「カイロ」で上手に防寒しよう

寒い季節、手離せなくなるのがおなじみの「カイロ」。ドラッグストアでは、従来の使い捨てカイロとともに、肌へ直貼りできるタイプや皮膚に塗るクリームタイプのもの（例：ぬるホッカイロ温感クリーム）など、新しいカイロも発売されています。使いやすさでおすすめるのは、低温ヤケドの心配が少ない「布地に貼るタイプのカイロ」です。メーカーによって、温かさの持続時間や温度帯が違うので、その日の気温や屋外にいる時間に合わせて使い分けをするのも賢い方法です。

風邪気味のときなどは、うなじにある少し出た部分に、体を温めて風邪に効く「つぼ」があるので、そこにカイロが当たるよう、ハイネックの肌着などに貼り付けるといいでしょう。

*低温ヤケドを防ぐためには……

- ①カイロの当たる部分は圧迫しない……カイロを当てた部分をベルトやサポーターなどで圧迫すると血流が抑えられ、皮膚の温度が上がってヤケドを引き起こしがちなので、注意しよう。
- ②一カ所に長時間当てない……衣服に貼っていても時折り位置をずらす方が安全。また、就寝中は熱がこもるので使用しないようにしよう。
- ③「熱い」と感じたらすぐにはずす……他の暖房器具と併用するとカイロの温度が上がることもあるので、気をつけよう。





SAFETY CHECK

セーフティ
チェック

エンジン高圧洗浄機のトラブルシューティング

高圧の水で強力洗浄するエンジン高圧洗浄機のトラブルをまとめてみましょう。

■ エンジンが始動しない

① 燃料の確認 (量・燃料コックの開閉)。

② リコイルを引く

引けない

エンジン始動しない

ポンプ内蓄圧

キャブレター不良

点火不良

エンジン焼付き

燃料コック詰まり

ノズル開にて圧抜き

ゴミ詰まり点検

点火プラグ確認

オイル量の確認

フィルターの清掃

■ エンジンが始動するか水がでない！

① 水タンクの量を確認。

② ノズル開

エンジン回転数が上がらない

噴射する

スロットワイヤの緩み

すぐ停止する

異常に振動

圧力が上がらない

ワイヤ張調整

エンジン暖気不足(冬場は5分)

吸水ストレーナーの詰まり(清掃)

ノズルチップ、パッキン摩耗(交換)



※運転後ノズル開で圧力計がゼロを指していれば正常です。

